

4) 指標種リスト

〔陸域〕

樹林指標種	
植物	アカガシ、イノモトソウ、ウラシマソウ、エビネ、オオハナワラビ、カマツカ、コクラシ、セントウソウ、ダイコンソウ、ツクバトリカブト、ツリフネソウ、 <u>トウゲシバ</u> 、ヒトリシズカ、ヤマコウバシ、ヤマユリ、
鳥類	アオゲラ、アオバズク、ウグイス、エナガ、オオタカ、カケス、サシバ、シロハラ、ノスリ、フクロウ、ヤマガラ、ルリビタキ
両生・は虫類	〔両生類〕アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル 〔は虫類〕ニホンマムシ、ニホンヤモリ
昆虫類	ウスタビガ、ウラゴマダラシジミ、エゾカタビロオサムシ、クツワムシ、クロカナブン、コマダウスバカゲロウ（幼虫）、 <u>ゴマダラチョウ</u> 、センノキカミキリ※、トゲナナフシ、ニホントビナナフシ、ヒオドシチョウ、ヒメマイマイカブリ、ムネアカセンチコガネ、ヤマトタムシ、ヨツスジハナカミキリ

草地指標種	
植物	アリノトウグサ、カナビキソウ、クサボケ、コウヤワラビ、ツリガネニンジン、ナンバンギセル、ノアザミ、 <u>ヒキヨモギ</u> 、ヒトツバハギ、フユノハナワラビ、ホタルブクロ、マルバスマレ※、ワレモコウ
哺乳類	カヤネズミ
鳥類	コミミズク、セッカ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、ヒバリ、ホオジロ、モズ
両生・は虫類	〔は虫類〕アオダイショウ、シマヘビ、ヒガシニホントカゲ※、ヤマカガシ
昆虫類	オナガササキリ、ギンイチモンジセセリ、キンヒバリ、クルマバッタ、コバネササキリ、シブイロカヤキリ※、ジャコウアゲハ、ジャノメチョウ、ショウリョウバッタモドキ、シロヘリツチカメムシ、スズムシ、ナキイナゴ、ヒガシキリギリス※、ヒゲコガネ、マツムシ、マメハンミョウ

水辺指標種	
植物	オモダカ、カワヂシャ、チゴザサ、チダケサシ、ツボスミレ、ボントクタデ、マコモ、ミゾコウジュ、ヤナギタデ、ヤノネグサ
鳥類	アオサギ、アマサギ、 <u>イカルチドリ</u> 、オオジュリン、オオヨシキリ、カイツブリ、カシラダカ、クイナ、ゴイサギ、コサギ、コチドリ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、チュウサギ、バン、ヒドリガモ、ホシハジロ、ミサゴ、ヨシゴイ
両生・は虫類	〔両生類〕トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエル 〔は虫類〕クサガメ、ニホンシガメ※、ヒパカリ
魚類	アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、ホトケドジョウ
昆虫類	オニヤンマ（幼虫）、カトリヤンマ、ケラ、コオナガミズスマシ、シオヤトンボ、シマアメンボ、タイコウチ、ネグロセンブリ、ヒメアカネ、ヘイケボタル、ミルンヤンマ、ムスジイトトンボ、モノサシトンボ

海岸指標種	
植物	<u>イヌハギ</u> 、オカヒジキ、 <u>オニシバ</u> 、ケカモノハシ、コウボウシバ、コウボウムギ、ハマエンドウ、ハマカキラン、 <u>ハマニガナ</u> 、ハマヒルガオ、ハマボウフウ、 <u>ピロードテンツキ</u> 、マルバアカザ
鳥類	ビンズイ、ミユビシギ
昆虫類	オサムシモドキ、クロマメゾウムシ、シロスジコガネ、ハマベエンマムシ類、ルリエンマムシ

〔水域〕

主要河川指標種	
魚類	アブラハヤ、アユ、ウキゴリ、ウグイ、シマヨシノボリ、タモロコ、トウヨシノボリ、ドジョウ、ナマズ、ニゴイ、ニホノウナギ※、ヌマチチブ
甲殻類	テナガエビ、ヌカエビ、ヒラテテナガエビ、ミズレヌマエビ、モクズガニ

細流指標種	
魚類	アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、ホトケドジョウ
甲殻類	サワガニ、ヒラテテナガエビ、モクズガニ
貝類	カワニナ、ヒメタニシ、マルタニシ

備考1) 下線は、第2回調査以降に追加された種であることを示す。

2) ※印は、第2回調査以降に種名が変更された種であることを示す。

3) 第1回調査では指標種であったヤマアカガエル（両生類：樹林指標種）、ヒサゴクサキリ（昆虫類：樹林指標種）、ミヤマアカネ（昆虫類：水辺指標種）、ツチガエル（両生類：水辺指標種）、ハマダイコン（植物：海岸指標種）は指標種から除外された。

4) 第1回調査では樹林指標種であったシロスジコガネ（昆虫類）は、海岸指標種に変更された。また、主要河川指標種であったサワガニ（甲殻類）、カワニナ、ヒメタニシ、マルタニシ（以上、貝類）は、細流指標種に変更された。

5) 第1回調査では主要河川指標種であったヒラテテナガエビ、モクズガニ（以上、甲殻類）、細流指標種であったドジョウ、ナマズ（以上、魚類）は、主要河川と細流に共通の指標種に変更された。